

● 目 次 ●

ごあいさつ

目次・凡例

1	豊かな生物相を持つ日本	1
2	絶滅した生物	2
3	琉球列島の生物	5
4	本州・四国・九州の生物	6
5	北海道の生物	7
6	島嶼（小笠原、鳥島、大東島）の生物	8
7	鳥取県の自然	9
	● 植物	10
	● 哺乳類	17
	● 鳥類	20
	● 両生類・爬虫類	24
	● 魚類	26
	● 昆虫類	33
	● 参考・引用文献	37
	● 出展リスト	39
	● 協力機関、協力者等	

凡 例

- 1 本図録は、平成9年7月24日(木)～8月24日(日)まで、鳥取県立博物館で開催する特別展「救おう！日本の野生生物—鳥取県の貴重な生物—」にちなんで作成した。
- 2 本図録の編集は、原則として展覧順に合わせているが、文中の写真は、展示資料のすべてを紹介しているわけではない。
- 3 借用写真については、写真説明に所有者名を加えた。
- 4 鳥取県の生物についても、掲載しているのは一部の種である。
- 5 種の掲載に当たっては、「日本の絶滅のおそれのある野生生物」（環境庁）、「鳥取県のすぐれた自然」（鳥取県）を参考にした。植物・鳥・魚類・昆虫については、一部の種の掲載である。種のカテゴリーについては、「日本の絶滅のおそれのある野生生物」（環境庁）にしたがった。
- 6 種の配列と学名については、「日本産野生生物目録—本邦産野生動植物の種の現状—」（環境庁）、「新日本植物誌 顕花篇 改訂版」（大井次三郎，1992）及び「新日本植物誌 シダ篇 改訂増補版」（中池敏之，1992）にしたがった。
- 7 カテゴリーの定義については以下のとおりである。
 - 絶滅種：すでに絶滅したと考えられる種または亜種
 - 絶滅危惧種：絶滅の危機に瀕している種または亜種
 - 危急種：絶滅の危険が増大している種または亜種
 - 希少種：存続基盤が脆弱な種または亜種
 - 地域個体群：保護に留意すべき地域個体群（孤立した個体群で、絶滅の恐れが高い）
- 8 図録の編集は鳥取県立博物館学芸員田村昭夫が担当し、執筆は、魚類は安藤重敏（当館学芸員）、植物は田中昭彦（日本植物分類学会会員）、その他は田村昭夫が担当した。